

## マヨリカ風に挑戦！

マヨリカと読むのか、マジヨリカと読むのか、どっちでもよいですが、イタリアの焼物です。ちなみに、マヨルカ(マジヨルカ)は、地中海に浮かぶスペインの島で、別物です、紛らわしい。

ルネッサンス期に作られた、錫を使った白い釉薬の上に、金属系の顔料、釉薬で絵を描きます。比較的低温(約1000~1100度)で焼き、柔らかな鮮やかな色合いが特徴です。

すっかり春めいていた今日この頃、鮮やかな色のものを作ってみましょう。丸っこい、カップやシュガーポットなどもよいですが、下はリムのある長皿です。出来上がりの絵など考えながら、楽しんで作ってみましょう。

①



②



③



④



⑤



サンプルの長皿は土は白信楽で、好きな大きさに伸ばします。型紙はありません。リムのサイズや収縮など考えながら7ミリにスライスします。複数枚欲しければ、枚数分スライスしましょう。

枕にする紐を作って、載せてみます。紐の大きさが決まれば、板の上に新聞、紐を置いて、さらしをかぶせます。さらしには乾いているのでOK。(紐土は、止め土です。赤白でちらでも)

土を置いて、内側を押しして凹まし、リムを出します。

リムの大きさに気をつけましょう。あまり大きければ、焼いた時に垂れてしまいます。垂れを防ぐために、壁の土を少し寄せてしっかりさせ、コテでリムを整えましょう。

弓で、リムの形を整えて、なめし皮でなめらかにして出来がりです。複数枚必要で、同じように作りたければ、さらしごとどけて、同じ紐で2枚目を作りましょう。一枚目は、リムが垂れないように、部分的に枕にする紐をあてておけば大丈夫です。

マヨリカ風の焼き物

